

若さの特権

校長 濱野 正義

先日、授業を見学するために5階の教室に行きました。その窓から見える壮大な緑の山。一気に懐かしさがこみ上げてきました。45年前、私が西高生だった頃の旧校舎の教室からも見えていた「前岳」。席が窓側になったときは、授業中ぼんやりと眺めていて、何度も先生に注意された。なつかしい。60年間ずっと姿を変えず、西高生を見守っている「前岳」。その山から冷たい風が吹きはじめ、短かった秋の終わりが感じられる今日このごろ。

中国古代の五行説では秋の色は「白」とされています。「白」は本来無色の透き通るようなものを指し、秋は無色透明な寂寥感(せきりょうかん)を漂わせる季節、また秋は稲の収穫の時期であり、稲は白米になるから、「秋＝白」とされているとのこと。北原白秋の名前の由来も五行説から付けられたと言われています。

君たちの年代は『青春』という時期で、色に例えると、もちろん「青」です。いろんなことに果敢に挑戦し、いろんな能力が伸びる時期でもあり、少しの失敗が許される時期。まだ知らないことがたくさんあるので、「わかりません」「できません」と発言することが許される年代であり、「未熟なことが」君たちの勲章であり特権なのです。

しかし、その勲章や特権をいつまでも身にまとい続けておくわけにはいきません。人生の若いうちにだけ与えられた貴重な財産であり、ある時期を過ぎるとその財産はみな、平等に没収されます。

大人になっても「わかりません」「それは自分にはできません」「その仕事は無理です」と言って仕事を引き受けない、仕事をしない。自分中心の考え方だけで判断し回りから信用されない。気に入らないことがあれば不機嫌な顔で周囲から避けられる。社会に出て働き出して、これが通用すると思いますか？学生時代の感覚が残っていて、まだ通用すると思っている社会人もいます。しかし、そのような人は、社会人として尊敬されません。人としてもどうかと思います。

人は「若さ」という仮面を取り上げられたとき、どのように振る舞うかが大切なのです。そのためには、若い時期に自らの内面をしっかりと磨いておかなければいけません。人としての生き方を学んだり、自らの感性を磨いたりしなければなりません。では具体的には何をするか。スポーツや芸術を追求すること、読書を通していろんな生き方を知ったり、科学の世界の面白さに興味をもったりして、内面世界をとにかく広げること。

「部活動」と「読書」、私がずっと君たちに求めるこれら2つのこと。早く気づいて欲しい、これらの大切さを。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋は終わろうとしています、これらのことに季節など関係ない。

さあ、これを読んだら、まずは図書館へ本を借りに行こう！

暇がなくても ぶらりぶらりと ライブラリ

文理系探究全体発表会

10月24日(木)に、2年生の文理系探究全体発表会を行いました。2年生の8チームのプレゼンテーション発表と、42チームのポスターセッション発表を1年生が観覧しました。2年生は4月にチーム編成を行い、自分が志望する学問分野の中から課題を設定し、約半年をかけてグループで活動してきました。どのチームも自分たちの身近な問題を探り、企業・施設等へのフィールドワークを熱心に行い、そこで得た結果から今後の方向性を考察することができていたと思います。外部の人、本物の世界と触れ合うことで初めて知ったことや、困難を乗り越えた先に得られた達成感などを今後の探究活動および学校生活に生かして欲しいと思います。これからは、1年生は文理系グループ探究へ、2年生は文理系個人探究へと移行していきます。探究活動は、「やらされている」と感じると楽しくありません。どんなことでも良いので、何よりも楽しんで活動をしてほしいと思います。(キャリア支援部)

文理系探究全体発表会優勝：チームオーガニック「生物にとって優しい製品を作ろう」



人生の達人セミナー

11月1日(金)の午後、1・2年生を対象に「人生の達人セミナー」を行いました。これは、長崎県にゆかりのある方を学校にお招きし、生徒が今後の人生を歩いていく上での助言や激励をいただくという講演会です。今年度は、深見利佐子さん(本校47回生)をお招きし、「夢の叶え方～高校生のうちにできること」という演題でお話をいただきました。



深見さんはタイのご出身で一家転居で佐世保で育ち、本校卒業後、筑波大学に進学され、同大学院で世界文化遺産学を学び、博士号を取得されました。また西高時代も含め柔道競技で活躍された方で、東京2020オリンピックにはタイ代表として出場し、夢の舞台に立たれました。現在は清水建設株式会社で歴史的建造物の修復などに関わっていらっしゃいます。

「こんなに素晴らしい方の講話を聴くことができ光栄だった。今夢中になって頑張っていることや夢を実現するために取り組んでいることを継続し、努力が報われることを信じて一生懸命することが大切だと思った」という生徒の感想からも、深見さんの思いは後輩にしっかりと伝わったようです。

(研修部)

校内持久走記録会

11月6日(水)に学校敷地内での持久走記録会を実施しました。昨年度の記録会は暑かったですが、今年度は冷え込んだ天気となり生徒も走りやすい環境となりました。距離は、女子4km、男子6kmで、体育館前を正門に向かってスタートし、語らいの広場から入ってグラウンド内を周り、また語らいの広場から出て校舎のMR側、セミナーハウス前を通過し、体育館外周を回る1周1kmのコースでした。走り終わった生徒たちの額からは汗が流れ、体育の時間で取り組んできた持久走の成果を発揮し、生徒一人ひとりが一つでも前の順位へ、1秒でも早くゴールしようと懸命に取り組む姿や、仲間に「がんばれ!」と熱い声援を送る様子が見られました。早朝からの準備、終了後の後片付けを手伝ってくれた陸上部、ソフトボール部、ハンドボール部、係生徒や学年の先生方の協力のおかげで、大きなケガもなく無事に終えることができました。また、育友会の皆さまからは飲料の差し入れをいただきました。本当にありがとうございました。

(体育科)

【上位成績者】

2年 男子:第一位 黒澤 和真 第二位 大石 啓心 女子:第一位 山内 祐奈 第二位 中島 由乃
1年 男子:第一位 内海 航喜 第二位 堤 悠翔 女子:第一位 浦 ありさ 第二位 加藤 梓



校内読書週間

全国的な読書週間に合わせて11月1～8日、図書委員を中心に標語コンクールなどの取組を行いました。今後も多くの機会に図書館へ足を運んでもらえたら幸いです。

<最優秀賞>暇な日は ぶらりぶらりと ライブラリ 3年5組 木原 正登
<優秀賞>めくるたび 広がる世界 未知の旅 1年5組 飯尾 優季
<優良賞>アイフォンじゃなくて My本を手 3年6組 森 小雪



朝の挨拶運動

11月に全県下で取り組まれている「高校生さわやか運動」の一環として、11月11～15日で、1・2年の生活委員と生徒会執行部生徒による朝の挨拶運動が行われました。私たち職員も毎朝正門前やMR左石駅などに立っていますが、日々挨拶を続けているうちに生徒だけでなく地域の方とも挨拶し合うようになりました。生徒の皆さんも、一日のスタートが気持ちよく切れるよう、今後もさわやかな挨拶を心がけましょう。

《12月の行事予定》

3	(火)	後期中間考査(11/28～3日)最終日・部室棟清掃点検
4	(水)	考査レビュー日
5	(木)	防災避難訓練
7	(土)	共通テストプレテスト(～8日 3年) ※8日は長崎国際大学にて実施
9	(月)	研修旅行(～12日 2年) 三者面談(～13日 1・3年)
14	(土)	県一斉(1・2年) 共通テストプレテスト(～15日 3年)
16	(月)	三者面談(～20日 2年)
24	(火)	授業中断日
25	(月)	冬季講座(全学年 ～27日)
28	(木)	共通テストプレテスト(～29日 3年)



主な試合などの結果

<陸上部> ○長崎県高校総合体育大会駅伝競走大会 男子30位、女子10位

<弓道部> ○させばスポーツマンズ スポーツの部 弓道競技

女子団体 優勝 男子団体 第3位 男子個人 2年 野口 大輔 準優勝

<ソフトボール部> ○第43回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会長崎県予選会 第3位

<ハンドボール部>○佐世保地区高等学校新人体育大会ハンドボール競技

女子 優勝 男子 準優勝

<卓球部>○長崎県高等学校新人体育大会卓球競技佐世保地区予選会

男子団体 第3位 女子ダブルス 県大会出場認定証 1年 矢野 朱莉・前田 実南ペア

<バドミントン部>○県北地区高等学校バドミントン競技新人大会

男子団体 第3位 女子団体 第3位

<美術部>○長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】(第55回長崎県高等学校美術展)

優秀賞 2年 中野 和香、岩崎 寛治(R7全九州高総文福岡大会出場)、

2年 柏木 花奈子、靱田 啓翔

優良賞 2年 高木 月翔、岡本 悠時、西田 心春、1年 河野 璃子、内海 航喜

<放送部>○長崎県高等学校総合文化祭【放送部門】九州高校放送コンテスト県北地区大会

アナウンス部門 優秀賞 2年 下柳 月愛、福永 瑳弥仁、松山 和叶(県大会出場)、

1年 大城 詩歩

朗読部門 優秀賞 2年 中村 真衣、1年 橋村 奏一郎

○長崎県高等学校総合文化祭【放送部門】第46回九州高校放送コンテスト長崎県大会

アナウンス部門 優秀賞 2-6 下柳 月愛(九州大会出場)

ラジオ番組部門 優秀賞「日常にラジオを」(九州大会出場)

テレビ番組部門 最優秀賞「超えてゆけ」(九州大会・全国大会出場)

<図書文芸部>○長崎県高等学校総合文化祭【文芸部門】県文芸コンクール

散文部門 佳作 2年 岡本 悠時、 部誌部門 佳作

<西高太鼓部> ○長崎県高等学校総合文化祭【郷土芸能部門】第22回郷土芸能発表大会

和太鼓部門 金賞

<その他>○第25回 Junshin Cup コンテスト 第3位 2年 ベリー 理彩

○第8回長崎県佐賀県合同高校生模擬裁判選手権

優勝 2年 大山 拓朗、野口 楓夏、藤田 康平、西 美月、村山 蒼太、山田 真綾

最も印象に残った生徒 MIP賞 2年 山田真綾

○少林寺拳法 第28回全国高等学校選抜大会兼第11回九州高等学校選抜大会県予選会

単独演武(男子自由) 第3位 1年 早田 智祐(九州大会出場)